



	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年行事	1年生を迎える会	創立記念日 運動会	開港記念日 交通安全教室	図書館開放		終業式・始業式 ふれあい遠足	ふれあいまつり	人権授業	カルタ大会	健康教育	6年生のお別れ会 入学式準備
学級活動(1)	ようこそ1年生 かきをきめよう	うんどう会をもち あげよう	雨の日のすごし方 をかながえよう	お楽しみ会をひら こう	お楽しみ会のけい かくを立てよう	えん足のじゅんぴを しよう	楽しいふれあいまつり ようちえんの子を しょうたいしよう	学年ドッジボール 大会をひらこう	お正月あそびをし よう (カルタ大会をしよう)	がんばったことの はっぴょう会	6年生ありがとう おわかれ会をひら こう
学級活動(2) (1)(2)合計 35時間	みんなのやくそく まもろうよ めあてにむかって	上手にすごせるよ きゅうしょくの時 間	休み時間 こんな ことできるよ 夏休み ○さつかりたよ 図 書室の本	こんなことできる よ夏休み ○さつかりたよ 図 書室の本	べんきょうのやく そく	すきな食べ物 こんな にふえたよ	すきだよ ○○さん のこんなところ	みんないっしょ 男の子女の子 じんけんじゅぎょう	きょうりよくしよ う そうじとうばん	こんなこと言われ たらいやだな けんこうきょうい	こんなことできるよ
道徳 (35時間)	ていねいなことば おもいやり ものをたいせつに	友だちのために みんなのもの すくすくそだて	でん車の中で ありがとうの心 ごまかさないで うつくしいのち	よいと思うことは やさしい心で	かんしゃの気持ちで がんばるぞ あぶない 子犬のことを考えて	友だちの気持ち みんなが使うもの ぼくいきだの よいことはすすんで	おもいやり つらくても うれしいおたより 気持ちよいあいさつ	うつくしい心 ゆう気を出して しょうじきな心	自分の力で なかよくたすけあ って たいせつないのち	ありがとうの心 ねばりづよく 家の手つだい	大すきなまち うつくしい心
国語 (280時間)	ふきのとう 今週の ニュース	たんぼぼの ちえ かんさつ名人になろう 見たこと、かんじたこと	ともこさんは どこ かな 同じ ぶぶんを もつ かん字	もう すぐ 夏休み スイミー	おおきくなあれ あったらいいな、 こんなもの カンジーはかせの 大はつめい	サンゴの海の生きも のたち お手紙	かん字の読み方 お話がいっぱい	かたかなで書くこ とば 一本の木	いるか 何に見えるかな 音やようすをあら わすことば	なかまのことばと かん字 スーホの白い馬	楽しかったよ、2年生
算数 (155時間)	時計とひょうグラフ 何十の計算	たし算のひっ算 ひき算のひっ算	3けたの数 計算のくふう	形づくり	長さのたんい	たし算とひき算の ひっ算	かけ算(1)	かけ算(2)	三角形と四角形	4けたの数 長いものの長さのたんい	たし算とひき算 2年のふくしゅう
生活	2年生になったんだ ・1年生ってかわ いいね ・学校のことをお しえてあげよう	ぐんぐんそだて ・やさいをそだて よう	生きものをそだてよう ・かい方をしらべてせわをしよう		とびだせたんけんたい ・ちょっととおくへ (○○こうえんに行こう)	生きものをそだてよう ・あきの虫をかおう	あきやさいをそだてよう ・あきにそだつやさいをうえよう ・きゅうこんをうえよう	とびだせたんけん たい ・さむいね ・うめを見に行こう	わたしものがたり ・小さいころのようすをきこう ・1きつの本にまとめよう		
(105時間)		とびだせ たんけんたい ・わたしたちのまち ・たんけんにしゅっぱつだ ・はっけんしたことをみんなに知らせよう			作って楽しもう ・楽しくあそべるゲーム、おもちゃ ・子ども広場の会場をつくろう ・しょうたいしよう			ようこそ○○小へ ・ようちえんの友だちをしょうたいしよう ・プレゼントを作ろう ・ようちえんにしょうたいされたよ			
音楽 (70時間)	歌と友だち ・あの青い空のように ・かくれんぼ ・山びこっこ など	わくわくリズムなかよしドレミ ・かっこう ・かえるのがっしょう ・おまつりわっしょい など	にっぽんのうた ・夏だ! ・せみの歌		すてきな音 ・虫のこえ ・森のたんけんたい	気分をかんじて ・小さなはたけ ・ジェットコースター	あそびうためぐり ・ロンドンばし ・こいぬのピンゴ ・やおやおみせ など	どんなようすかな ・こぎつね ・そりすべり など	みんなであわせて ・チャチャマンボ ・ぼくらのマーチ	にっぽんのうた ・はるがきた	音楽でお話 ・ブレーメンの音 楽たい (入学式の歌)
図画工作 (70時間)	わくわくドキドキ きって、ひねって つなげると	運動会のはた たいたいのばして なにしよう	ブンブンさんとあ そぼう すてきなようし 見つけたよ	ぶかぶかゆらゆら	ぼかして、見つけて ぼわぼわむくむく	コロコロ大きくせん しぜんからのおくりもの	かみをたてたら、 たのしいことが… よんで、見て見て たのしいえてがみ	あそびのつまった おもしろバッグで	たのしかったね あそんだこと どこにあったの? そのいろいろいね	すきないろはどん ないろ? 空をとんでゆめ のせかいへ	ピコリン村のデバ ートでおかいもの 6年生にプレゼント
体育 (90時間)	かけこ リレーあそび とびばこあそび	運動会ががんばろう ・かけこ ・リズムあそび ・ゲーム	ハンドベースボール マットあそび	うく・およぐうんどう	水あそび てつぼうあそび おにあそび	シュートボール	とびばこあそび ひょうげん・リズムあそび		ようぐを使ったうんどう 力だめしのうんどうあそび		ラインサッカー
国際理解 (6時間)	こくさいりかいきょうしつ ○○先生かんげい会				こくさいりかい きょうしつ				こくさいりかいきょうしつ ○○先生とのおわかれ会		

新しい指導を考える会

一年を見渡せる学年暦で 国語力を身につける計画を立てる (二年)

1 はじめに

どの教科の活動も話したり書いたり読んだりするのであるから、自然と国語力は身に付いていく。しかし、私たち教師は「偶然」ではなく意図的・計画的に、ねらいをもつて言葉の力をつけていかなければならない。春休み、学級担任の発表が行われた後の最初の学年会議で、私は、まず簡単な学年暦(学級暦)をもとに、一年間の単元の配列について話し合うことにしている。

実践提案 ①

実践提案 ②

2 他教科との関連を図るために国語科の計画を見直す

校長をはじめ職員の共通理解のもとに、教育課程の見直しを年度初めに行うことは、意図的・計画的な指導を行う上で大切なことである。

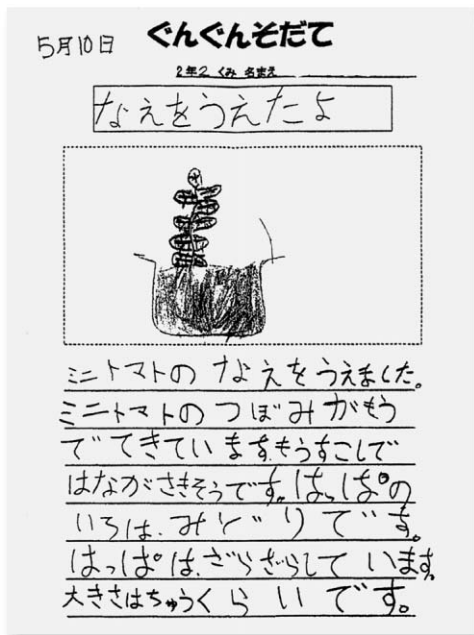
資料1は、年間指導計画の単元名・教材名を一枚に整理した学級暦である。年間指導計画としては簡略なものであるが、一枚の紙にまとまっているところに意味がある。各教科の学習内容を相互に関連づける工夫が容易にできるからである。

五月の生活科単元「とびだせ たんけんたい」は、まちに出て、公園や商店街などで身近な自然や物、人、社会にふれる活動である。発見したことを報告する機会が多い二年生の学習の中でも最初に体験するものとなるが、子どもたちは「発見する目」を十分にたない。また、「発見したことを表現する力」も不十分である。

そこで、下巻の国語教材「見たこと、かんじたこと」を五月に位置づけた。教室にある身近なものを見つめて、発見したことを表現する活動を国語科で扱い、「発見の目」「表現の方法」に気づいてからまちに飛び出すのである。

物の動きをとらえる目、物の形をとらえる目をもてば、一つの物から無限の表現が生まれる。静物でさえ多様なイメージを生み出すのであるから、公園探検で虫や動物を見つけたら素敵な発見が期待できるだろう。国語科での二行詩、三行詩作りが生活科の学習カードに生かされ、さらに言葉の力として国語科の学習に返ってくるのである。(資料2)

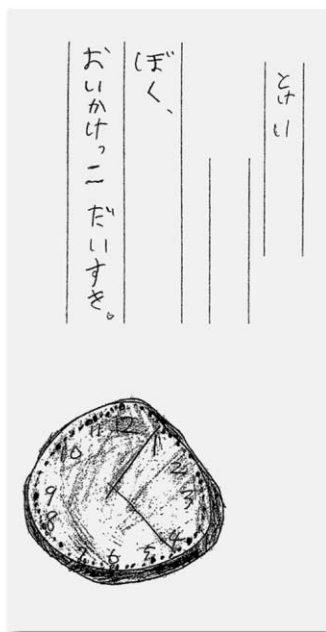
ら七月にかけて継続する生活科「ぐんぐんそだて」とは当初の計画から時期が一致しているものである。これらの単元・教材は、観察の方法、観察文の書き方を学ぶ際に関連して指導することで、時間的にも内容的にも効果的な指導を行うことができる。国語科の時間にどのような力をつけるか、生活科の時間にその国語力をどのように伸ばすか、どのように生活「化」させるか。これは、春休み中に想定しておくことができるものである。(資料3)



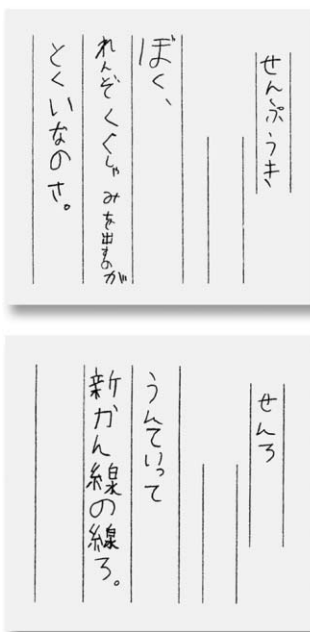
▲資料3

3 他教科・領域の中で国語力をつけるための計画を立てる

十一月前後に学校行事（に近い）活動で、「ふれあいまつり」というものがある。内容は生活科を中心としたいいわゆる学習発表会である。



▲資料2



二月・三月の国語教材「楽しかったよ、二年生」も同様のケースだろう。本校では、「わたしものがたり」という簡単な自分史を作る活動を生活科のまとめとしている。家族の愛とのふれあい、自分の成長への気づきを絵や写真、文章でまとめていく。その最後のページを「楽しかったよ、二年生」で締めくくるために、「楽しかったよ、二年生」と「スーホの白い馬」の教材配列を変更することはとても有効だった。

ただし、教材・単元配列の変更ばかりが工夫ではない。五月に、「かんさつ名人になろう」という国語教材がある。五月か

ここでは、生活科・学級活動を軸に、幼稚園・保育園の子どもたちを招待する活動を盛り込む。生活科で簡単な「まつり会場図」を作成し、学級活動で園児たちへの招待状を書くことにつながることで、子どもなりに工夫した「会場図入りの招待状」が完成する。学級活動の中で「招待状」という表現様式をここで学ぶのである。

ここで身につけた「招待状の様式」は、冬休み後に計画された学校説明会の日に行う幼・保・小交流会の招待状作りで再び取り上げられ、書く力として定着する。

4 おわりに

すべての教科を指導する小学校教師は、他校種の教師と比較して、複教科を関連させて指導することが容易である。この長所を十分に生かし、他教科・領域の中でも意図的に効率よく国語力をつけていく工夫をする必要がある。もちろん、それは国語力だけではない。学年暦（学級暦）などを活用すれば、思考力、判断力、もっと細かく計算力や観察力等に至るまで効果的な計画をすることが可能である。

一方で、小学校教師は、全教科を受け持たなければならないために専門的な教科知識・技能をもてないという短所ももっている。だからこそ、年度初めの学年会議で、国語科に通じている教師が国語力について語り、算数に通じている教師は算数力について語り、経験を重ねている教師は全体を見渡して助言し、若い教師は教わりながらも新しい風を吹き込み、一年間の指導の先に見える「夢」を語り合って現実のものとしていくことが大切だと思う。